



日本を離れて知る 和食の素晴らしさ

山田中 清水 学君

オランダの料理の中で一番好きだったのは、ホストファミリー宅での食事です。朝食と昼食は簡単で少なく、必ず自分で作るということに驚きました。この量で一日大丈夫かなと心配でしたが、夕食にはとてもたくさん食べました。朝と昼が少なくて済むのはこのためなのかと考えましたが、単にとてもおいしいからではないかとも思いました。本当においしい料理ばかりでしたが、何度かご飯が恋しくなりました。僕はオランダに来ることでオランダの料理の素晴らしさを知り、日本を離れて初めて和食の素晴らしさを見直すことができました。

アンネの家に行き 命の大切さ学んだ

山田中 川部 紗知さん



前に「アンネの日記」という本の内容を母に教えてもらい、アンネ・フランクに興味を持っていました。アンネの家は窓が一つくらいしかなく薄暗いところで、短時間いるだけでも息苦しかったです。このような場所で2年以上も住んでいたなんて信じられませんでした。当時はユダヤ人への迫害がとても厳しく、毎日のようにたくさんのユダヤ人が殺されていました。アンネの家に行ったことで、命の大切さをたくさん学びました。わたしは世界中の人に今ある命を大切に、自殺や殺人、戦争が世界から無くなってほしいと思います。

CLZ校での授業 仕組みが違い驚き

山田中 西舘 知央君



CLZ校の授業に参加しましたが、日本の学校と違うところがたくさんありました。一番驚いたことは制服がなく、みんな私服を着ていました。日本では考えられないことで、とてもうらやましかったです。授業の仕組みもまったく違い、日本では先生が教室を動くことが一般的ですが、CLZ校では生徒が教室に移動して授業を受けていました。そのため、いろんな人と話することができ、勉強を教えてもらったり、僕も日本語を少し教えてあげたりしました。日本とは仕組みが違うオランダの学校で学んだことは、とても良い経験になりました。



▲子供たちは記念撮影をしながら、いつまでも別れを惜しんでいました

楽しくリラックス したホームステイ

山田中 菊地 綾佳さん



ホストファミリーは6人兄弟で8人の大家族でした。毎日がとてもにぎやかで、楽しく過ごすことができました。言葉が通じるか不安でしたが、ジェスチャーや単語などで、だんだんとコミュニケーションをとれるようになりました。特にホストマザーとは、わたしが思っていることをすぐに分かってくれる以心伝心の仲になって、自分の家にいるみたいにリラックスした気持ちで生活することができ、とても感謝しています。オランダではたくさん話し、たくさん学び、たくさんの貴重な経験をし、楽しく充実した日々を送ることができました。

言葉の違いを超え 通じ合う喜び実感

山田中 近藤 有佳さん



ホームステイで一番苦労したのは言葉の違いです。初めは緊張で自分から話し掛けることなどできませんでした。何度も聞き返したり「分からない」を連発したり…。しかし、日が経つにつれて耳が慣れてきたのか、簡単な会話ならできるようになっていきました。時には身振り手振りで、時には「紙に書いて」と言ったこともありましたが、それでも相手の言いたいことが分かるとてもうれしかったです。いつも笑顔で優しく接してくれた家族と過ごした12日間はとても貴重な経験で、山田では学べないことをたくさん学ぶことができました。



▲専門学校ケルケボッシュ校を訪問



▲キンデルダイクの風車保存地区を見学



▲アムステルダム日本人学校の生徒とも交流を深めました

◀お別れパーティーでジュニア使節団の恒例となったロックソーラン節を披露

▶ユトレヒトのドム教会にて

▶CLZ校の生徒たちとすぐに仲良くなりました



美術作品のような 美しい国オランダ

山田中 伊藤 美保子さん



印象に残っているのは何といっても国立美術館です。レンブラントの代表作として有名な「夜警」を見られるということで、とても楽しみにしていました。作品を見たときには、予想外の迫力と大きさに声も出ませんでした。たくさんいるモデルの一人一人に役割や意味があり、絵の中にスポンサーの名前が書かれていることを知り、美しさを求めるだけでなく、絵師自身や時代背景が書き出されていて、あらためて美術の奥深さを感じました。絵だけでなく、街全体が美しい美術作品のようなオランダ。こんな素晴らしい国と出会えたことを忘れません。

交通事情の違いを 学べて楽しかった

豊間根中 芳賀 美咲さん



オランダと日本の交通には、わたしが考えていた以上に違いが多かったです。車道は直線が多く、スピードを出し過ぎないように減速用のカーブが作ってあったり凹凸があったりして、慣れるまでバスでの移動は少し大変でした。また、車道の横には自転車専用道路が設けられていました。オランダでは、子供から大人までとても多くの人が自転車に乗るため、車道や歩道を走ると危険だからだそうです。日本と異なる点の多いオランダの交通でしたが、説明を受けながら違いを発見するのが楽しく、とても勉強になりました。